

2025年5月14日

新札幌高架橋耐震補強工事の着手について

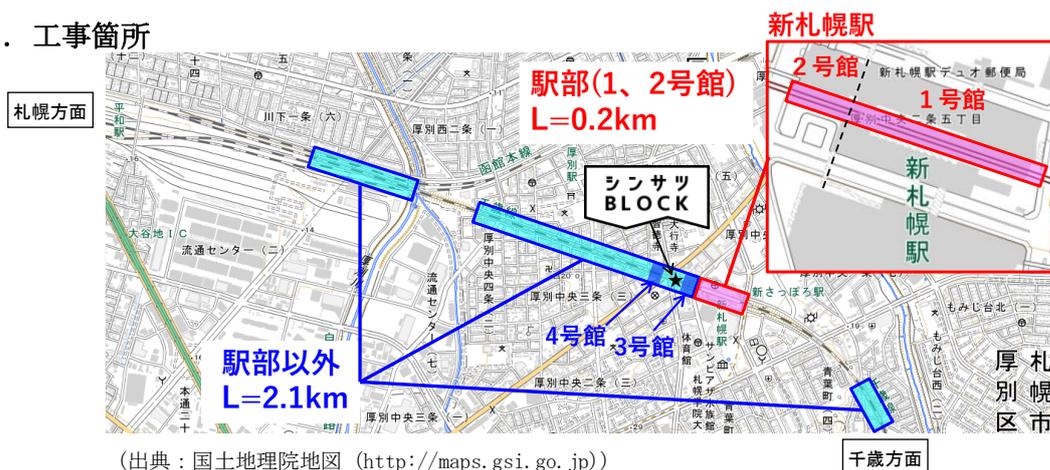
新札幌高架橋（1973(昭和 48)年開業）は、耐震補強を必要とする高架橋（1983(昭和 58)年より前の設計基準で建設されたもの）に該当し、国の通達^{※1}により耐震補強に努めることとなっています。この通達による耐震補強には、補助制度^{※2}を活用できることから、国および北海道と札幌市と調整を進めてきましたが、準備が整いましたので工事に着手します。

なお、耐震補強工事に合わせて、新しい新札幌の玄関をイメージとした駅デザインとすることに加え、駅を快適にご利用いただくため駅のリニューアル工事も実施いたします。

※1：「既存の鉄道施設に係る耐震補強の推進について」（2023(令和5)年4月5日北鉄技第1号；北海道運輸局）

※2：「鉄道施設総合安全対策事業費補助交付要綱」（2022(令和4)年12月2日改正，国鉄都第110号・国鉄事481号・国鉄施第190号；国土交通大臣）

1. 工事箇所



2. 工事内容

①建物撤去

耐震補強工事に支障となる商業施設（1、2、3、4号館）を撤去します

②耐震補強

高架橋柱と橋脚に鋼板巻き補強を行います（高架橋柱：158本、橋脚：1基）

③駅のリニューアル

- ・駅デザインを一新します
- ・駅出入口の扉を改札側に移動し、通行可能な幅を拡張することで、朝夕の混雑緩和を図ります
- ・改札外コンコースの通路幅と面積を拡張し、スムーズな動線確保と混雑緩和を図ります
- ・列車をお待ちいただく待合スペースを移設し、扉付きの「待合室」に変更します
- ・古くなったトイレの設備を更新（洋式化・ウォシュレット完備）し、改札内に移設します

～デザインイメージ～

- ・新しい新札幌地区との一体感と連続性を演出し、新しい新札幌の玄関をイメージしたデザインとしております
- ・周辺地域の素材を活用し、木やレンガ調でぬくもりを感じる空間づくりとしております



※パースはイメージであり、実際と異なる場合があります



※パースはイメージであり、実際と異なる場合があります

3. 高架下商業施設のリニューアル

耐震補強工事後の高架下商業施設跡地には、新たな商業施設を開発するための設計業務を進めており、開発が進む新札幌エリアにおいて、日常利用できる飲食・物販を中心とした交通結節点にふさわしい商業施設を計画中です。

なお、新たな商業施設の詳細については、今後あらためてお知らせいたします。



※パースはイメージであり、実際と異なる場合があります

＜東側（1号館側）からの外観イメージパース＞



※パースはイメージであり、実際と異なる場合があります

＜商業施設通路内のイメージパース＞

4. 完成時期

駅リニューアル : 2028年度第3四半期完成予定

商業施設（1、2号館）: 2028年度第2四半期開業予定

商業施設（3号館） : 2027年度第1四半期開業予定

※工事期間中は騒音や駅の一部スペースが狭くなる等の影響があり、ご利用のお客様にはご迷惑をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いいたします。